



「生理の貧困」実態調査 アンケート集計結果

神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室

令和4年3月

- 1 アンケート概要
- 2 回答結果
- 3 回答結果からの考察

1 アンケート概要

「生理の貧困」に関する実態を把握するため、アンケートを実施した。

※「生理の貧困」とは、経済的な理由で生理用品を購入できない女性や女の子がいることをいいます。

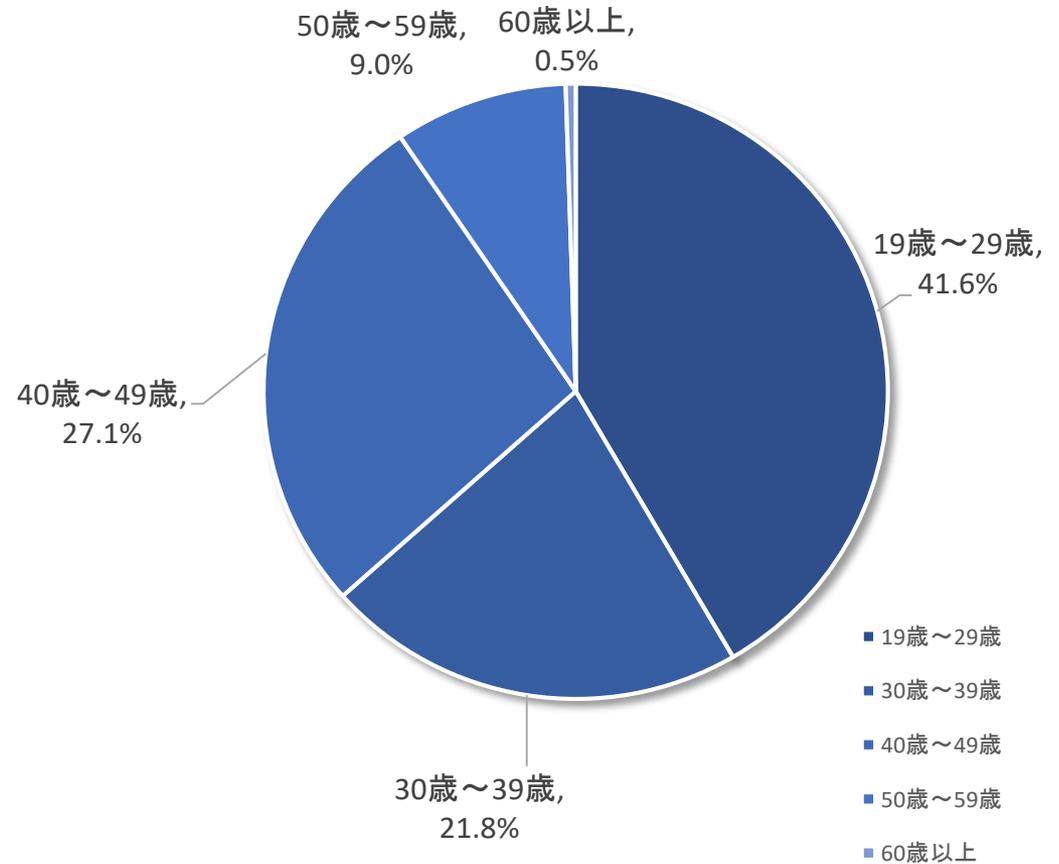
- ・ 調査期間：令和3年9月17日から12月28日
- ・ 回答対象者：神奈川県内在住、在学、在勤の19歳以上の女性の方
- ・ 回答方法：神奈川県電子申請システム
- ・ 回答数：779件

2 回答結果

(1)年代

あなたの年代を教えてください。

	回答者数 (人)	割合 (%)
19歳～29歳	324	41.6%
30歳～39歳	170	21.8%
40歳～49歳	211	27.1%
50歳～59歳	70	9.0%
60歳以上	4	0.5%
合計	779	100.0%

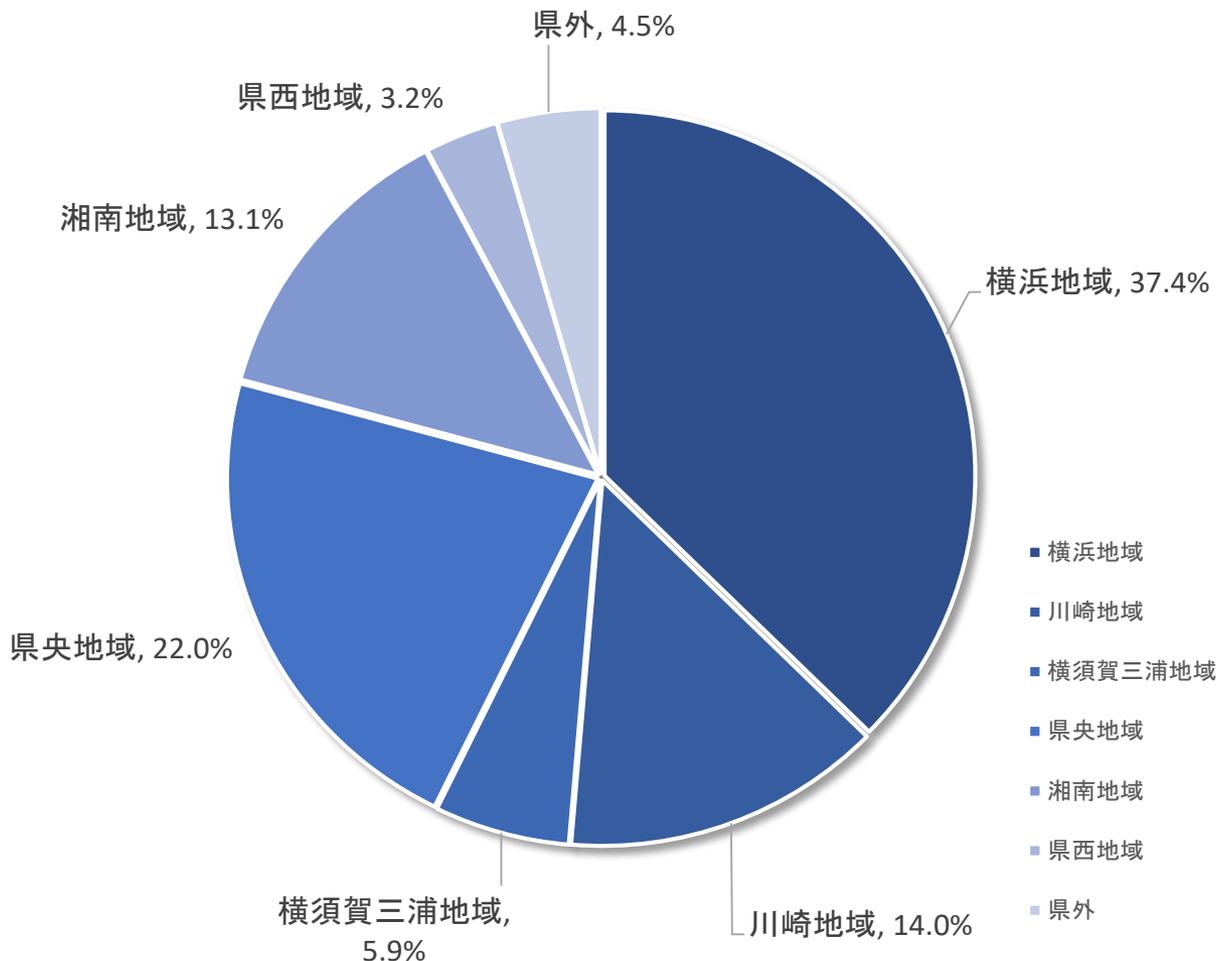


2 回答結果

(2)お住まいの地域

	回答者数(人)	割合(%)
横浜市	291	37.4%
川崎市	109	14.0%
相模原市	99	12.7%
横須賀市	23	3.0%
平塚市	14	1.8%
鎌倉市	12	1.5%
藤沢市	49	6.3%
小田原市	16	2.1%
茅ヶ崎市	16	2.1%
逗子市	8	1.0%
三浦市	1	0.1%
秦野市	6	0.8%
厚木市	15	1.9%
大和市	24	3.1%
伊勢原市	6	0.8%
海老名市	15	1.9%
座間市	13	1.7%
南足柄市	2	0.3%
綾瀬市	1	0.1%
葉山町	2	0.3%
寒川町	2	0.3%
大磯町	5	0.6%
二宮町	4	0.5%
中井町	0	0.0%
大井町	4	0.5%
松田町	0	0.0%
山北町	0	0.0%
開成町	1	0.1%
箱根町	0	0.0%
真鶴町	1	0.1%
湯河原町	1	0.1%
愛川町	3	0.4%
清川村	1	0.1%
県外	35	4.5%
合計	779	100.0%

あなたのお住まいを教えてください。

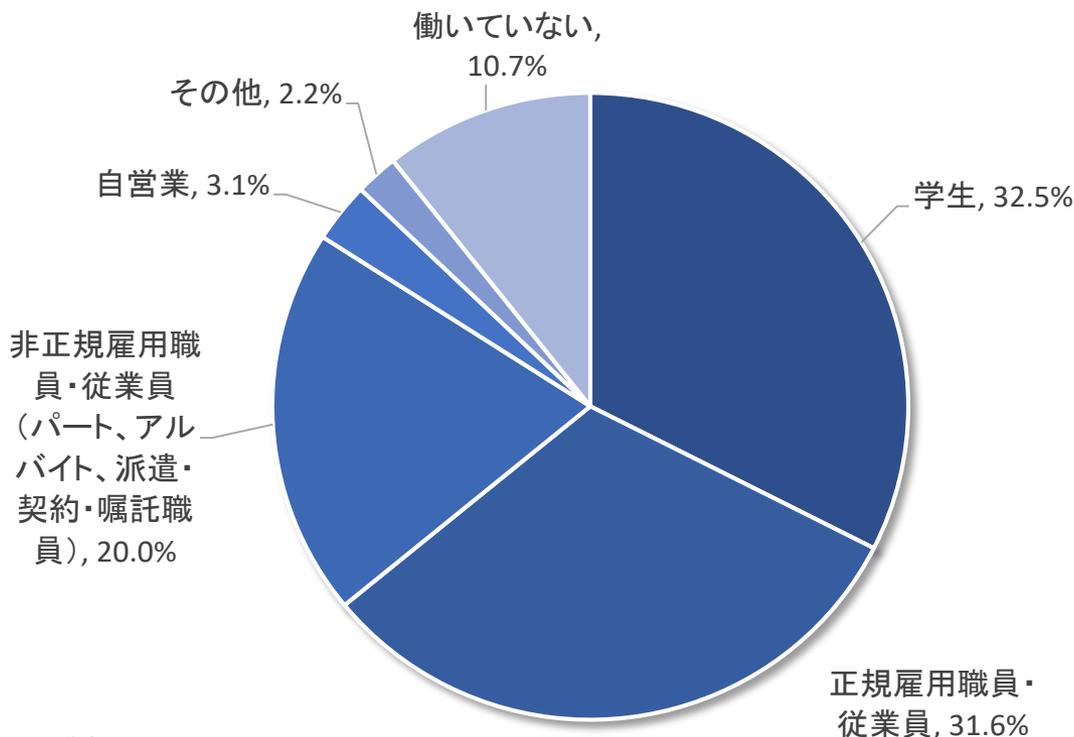


2 回答結果

(3)雇用状態

あなたの雇用状態を教えてください。なお、学生の場合は、アルバイト等をしている場合でも、「学生」をお選びください。

選択肢	回答者数(人)	割合(%)
学生	253	32.5%
正規雇用職員・従業員	246	31.6%
非正規雇用職員・従業員(パート、アルバイト、派遣・契約・嘱託職員)	156	20.0%
自営業	24	3.1%
その他(自由記載)	17	2.2%
働いていない	83	10.7%
合計	779	100.0%



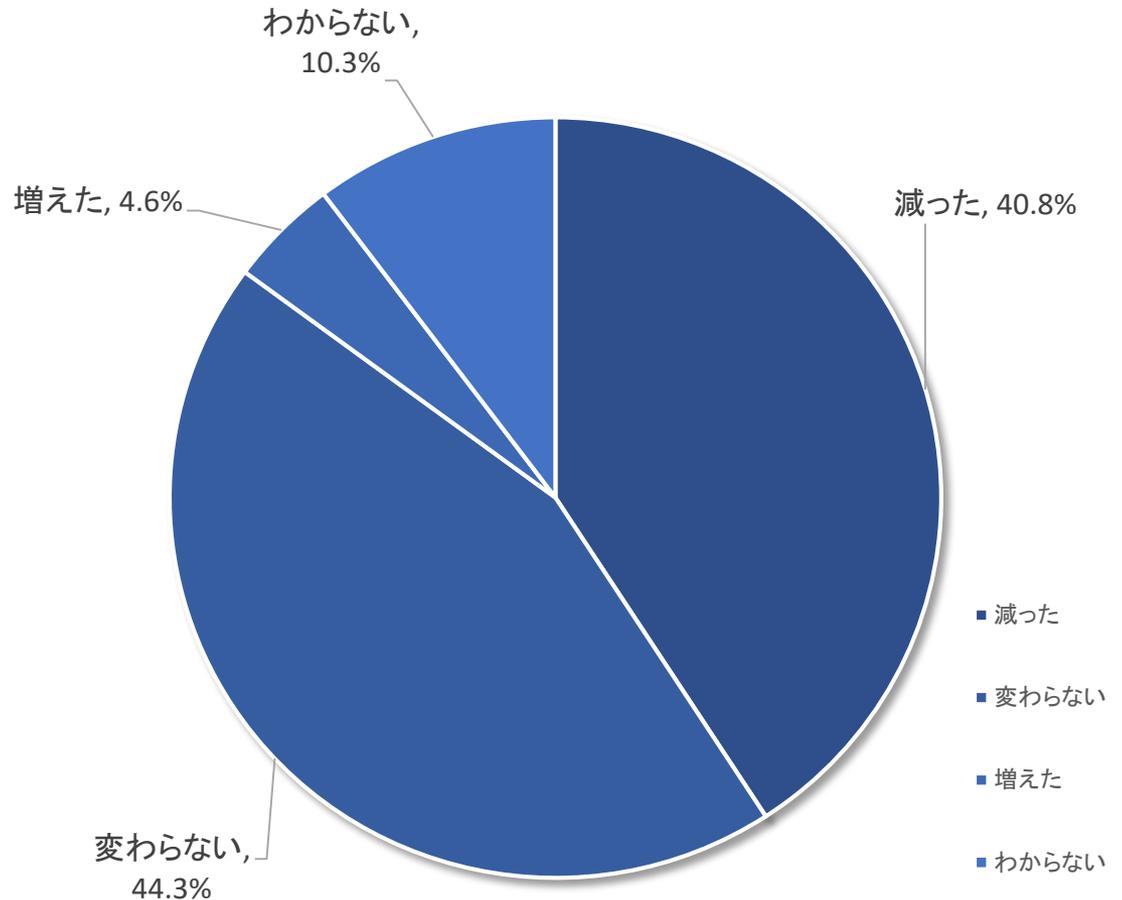
- 学生
- 正規雇用職員・従業員
- 非正規雇用職員・従業員(パート、アルバイト、派遣・契約・嘱託職員)
- 自営業
- その他
- 働いていない

2 回答結果

(4) 世帯年収の増減

コロナ禍以前(2020年1月以前)と比較して世帯年収は減りましたか。

	回答者数 (人)	割合 (%)
減った	318	40.8%
変わらない	345	44.3%
増えた	36	4.6%
わからない	80	10.3%
合計	779	100.0%

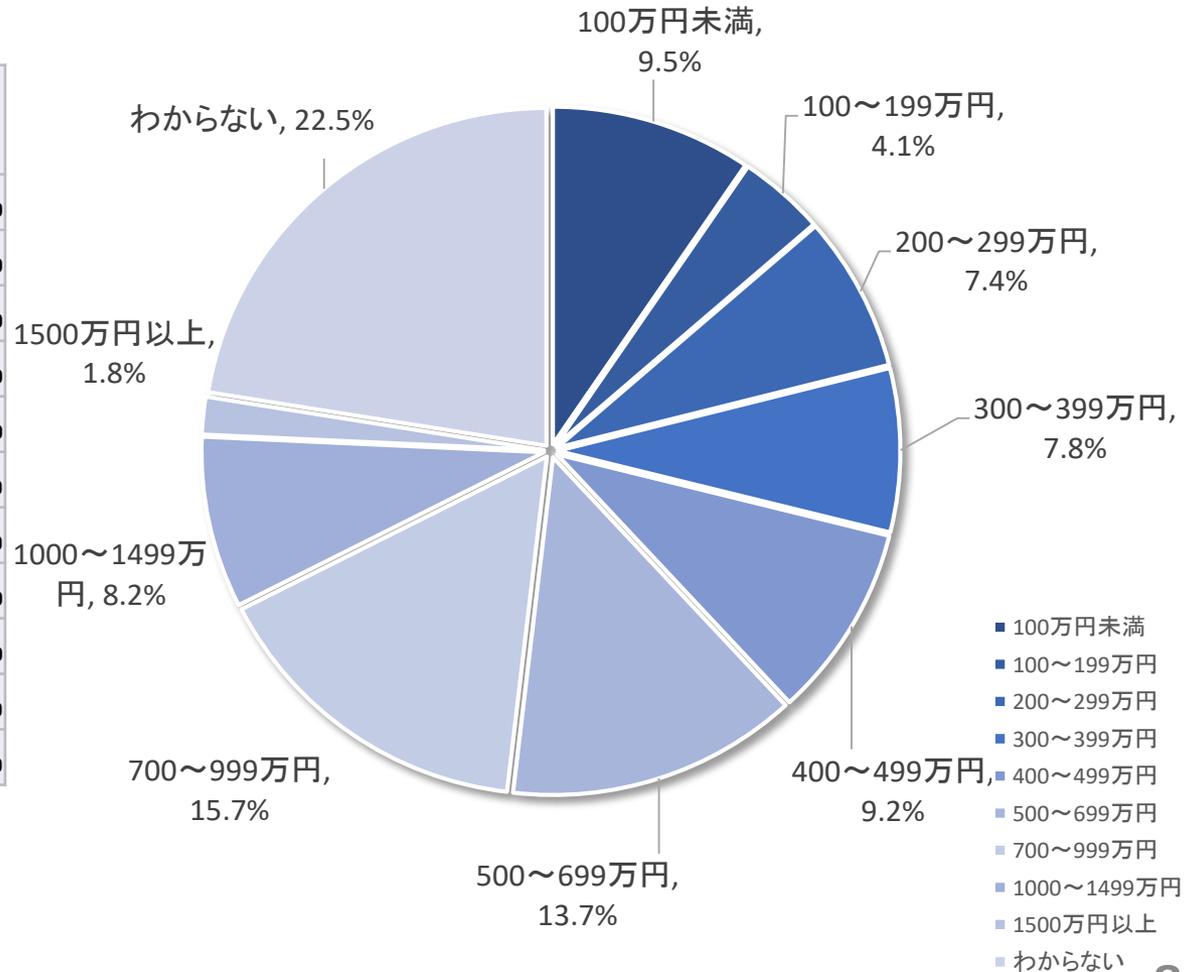


2 回答結果

(5) 世帯年収の状況

世帯年収(直近1年間の収入)を教えてください。

選択肢	回答者数 (人)	割合 (%)
100万円未満	74	9.5%
100～199万円	32	4.1%
200～299万円	58	7.4%
300～399万円	61	7.8%
400～499万円	72	9.2%
500～699万円	107	13.7%
700～999万円	122	15.7%
1000～1499万円	64	8.2%
1500万円以上	14	1.8%
わからない	175	22.5%
合計	779	100.0%



2 回答結果

(6)同居の状況

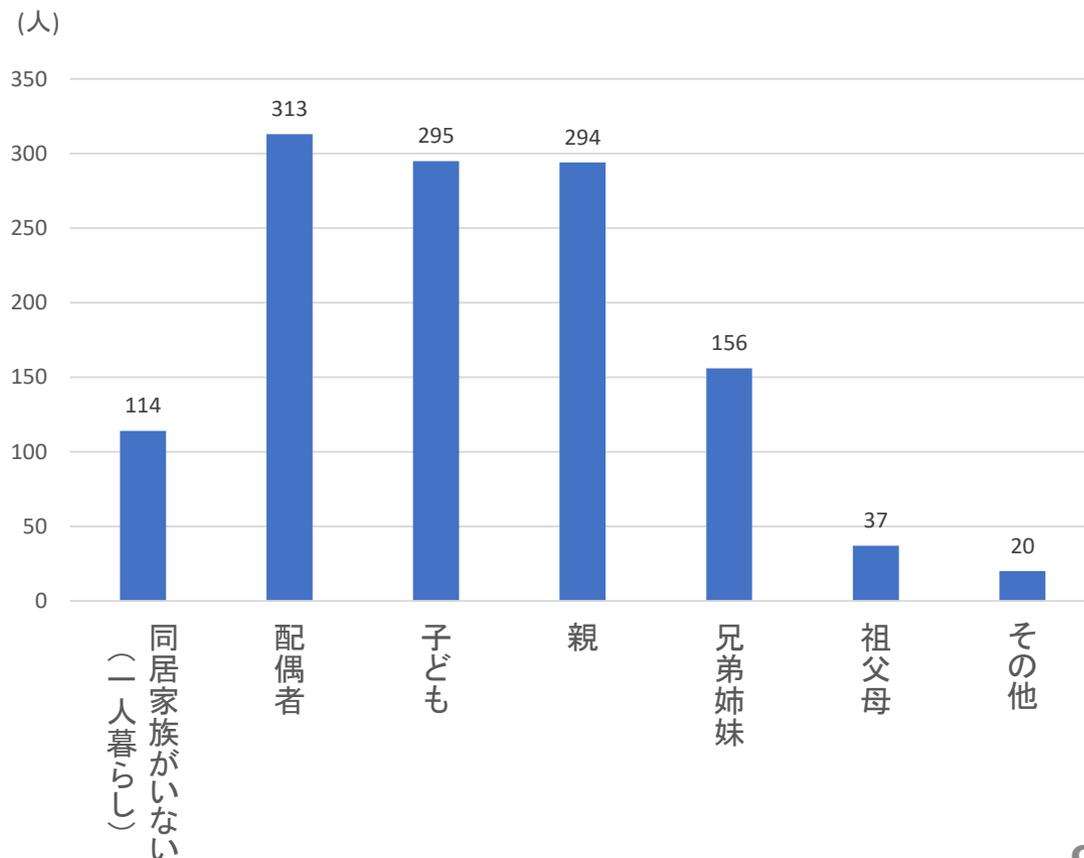
現在あなたが同居している方を教えてください。(複数選択)

なお、「同居家族がない(一人暮らし)」に該当する方は、「同居家族がない(一人暮らし)」のみを選択してください。

	回答数(複数選択)	割合(%)
同居家族がない(一人暮らし)	114	14.6%
配偶者	313	40.2%
子ども	295	37.9%
親	294	37.7%
兄弟姉妹	156	20.0%
祖父母	37	4.7%
その他	20	2.6%
合計	1229	

その他(自由記述)の内訳

婚約者	5
彼氏	1
内縁の夫	2
未婚のパートナー	1
パートナー	2
恋人	1
叔母	1
義父、義姉、姪	1
配偶者母	1
DVが止まらない配偶者から実家に一時避難している最中。	1
ペット	1
犬	1
友人	1
寮に住んでいる人	1
合計	20

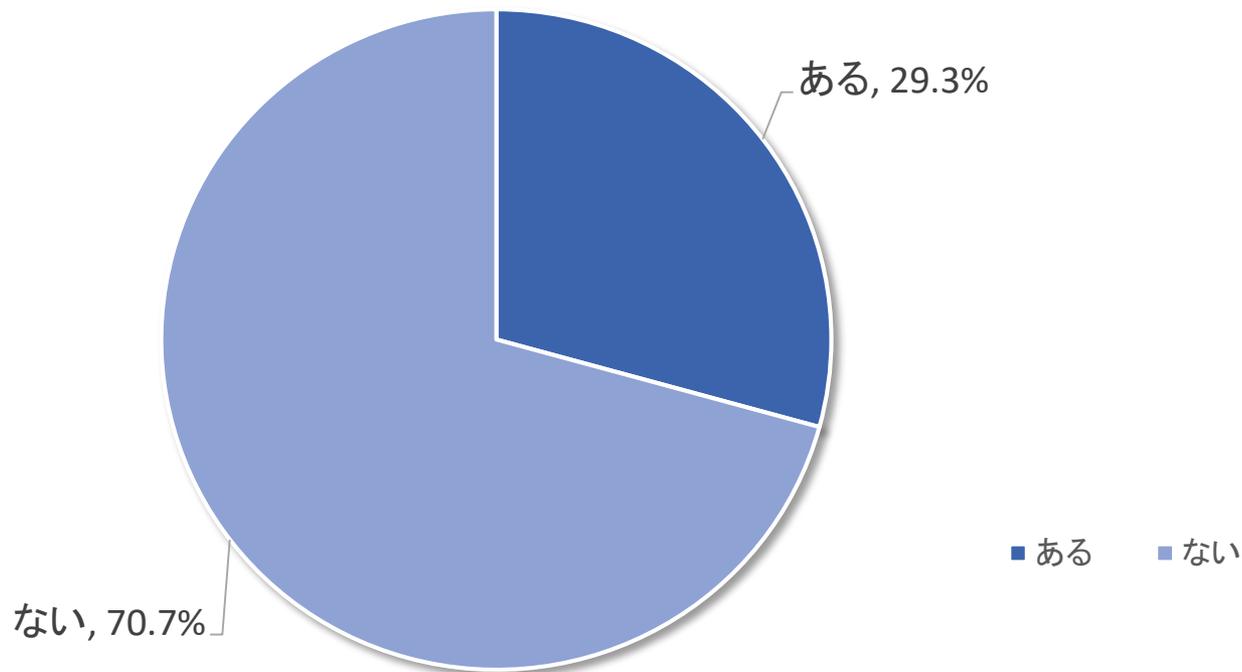


2 回答結果

(7) コロナ禍以降の購入をためらった経験有無

コロナ禍以降(2020年2月以降)であなた個人の生理用品(鎮痛剤、低用量ピルなどの医薬品は除く。)の購入をためらったことがありますか。

	回答者数 (人)	割合 (%)
ある	228	29.3%
ない	551	70.7%
合計	779	100.0%



2 回答結果

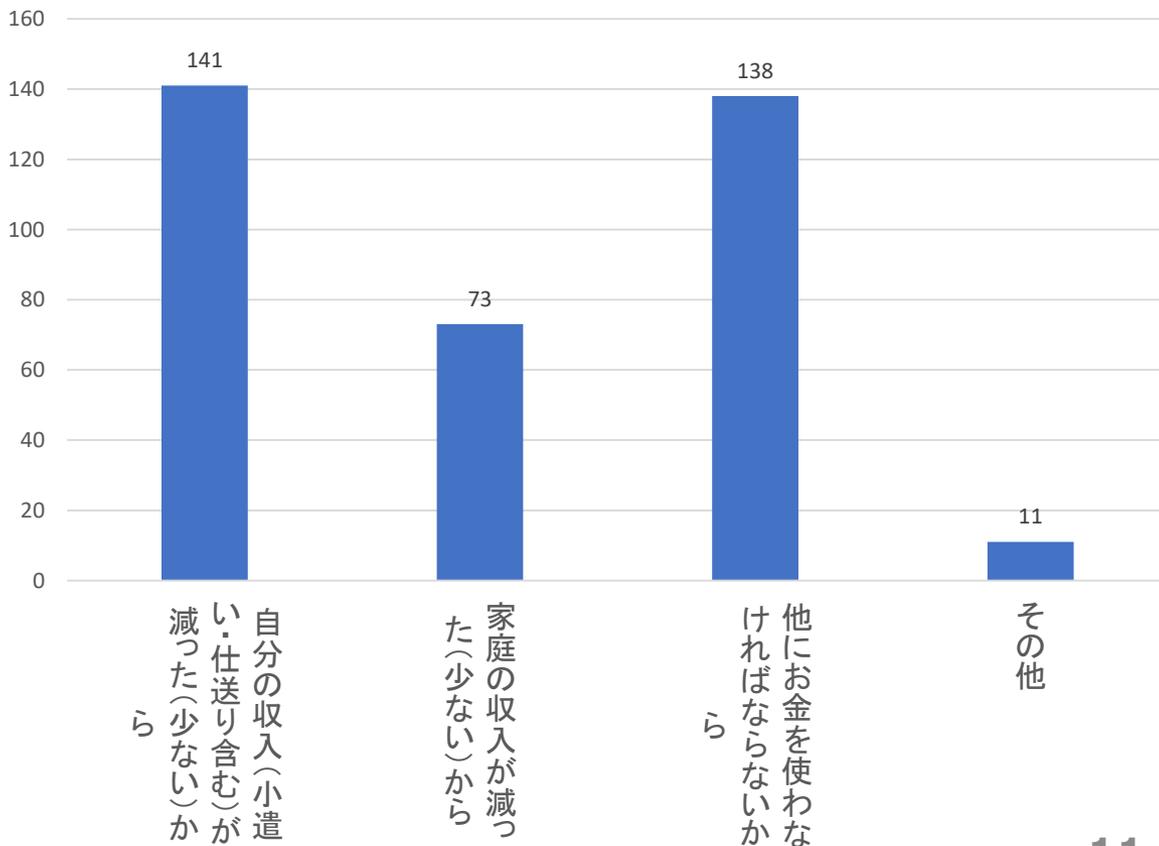
(7-2) 購入をためらった理由

(質問7で「ある」と回答した方のみお答えください)

その理由を教えてください。(複数選択)

	回答数 (複数選択)	割合 (%)
自分の収入(小遣い・仕送り含む)が減った(少ない)から	141	61.8%
家庭の収入が減った(少ない)から	73	32.0%
他にお金を使わなければならないから	138	60.5%
その他(自由記載)	11	4.8%
合計	363	

(人)



2 回答結果

(7-2-1)購入をためらった理由(その他)

(質問7-2で「その他」と回答した方のみお答えください)

具体的にその内容を教えてください。

先の読めない世の中になったと感じ、仕事も出来ず、いよいよ生活保護のお世話になろうと思い、余分な生理用品など、買わないよう、最小限に止めようと思った。

夫が私のお金でどんどん借金を作り、返してくれない。必ず避妊なしで強姦するので、新しい命が宿っては可哀想なので、その前に死のうと思う。

生理用品が高い割に数が必要になるので

コロナによってセールなども減って安く買えなくなったため安くなるのを待っていたら買う頻度が減った

レジが男性だと少しためらう

男性の店員のときに買わずらかったから。

ゴミが増えるのか嫌で、布ナプキンを併用している。

購入時に恥ずかしい思いがあるから。

病院通い

ピルを初めて使ってみたら身体の別の部分で症状が出たため

薬のアレルギーがあって買いたくても買えない

2 回答結果

(7-3) 相談経験

(質問7で「ある」と回答した方のみお答えください)

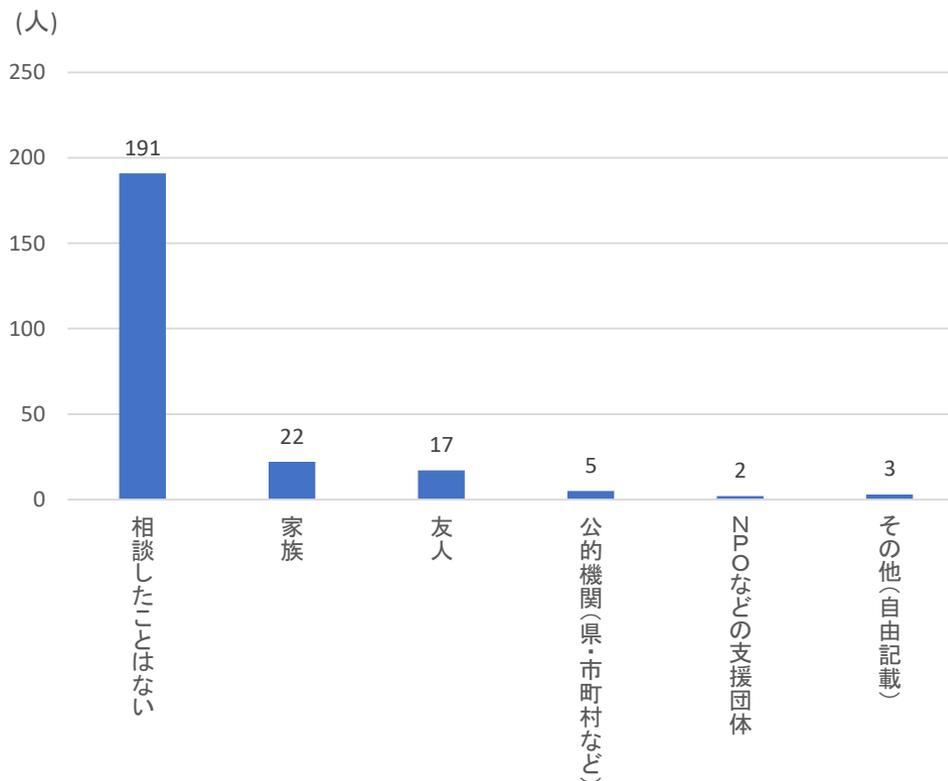
誰かに相談したことはありますか。(複数選択)

なお、「相談したことはない」に該当する方は、「相談したことはない」のみを選択してください。

	回答数 (複数選択)	割合(%)
相談したことはない	191	83.8%
家族	22	9.6%
友人	17	7.5%
公的機関(県・市町村など)	5	2.2%
NPOなどの支援団体	2	0.9%
その他(自由記載)	3	1.3%
合計	240	

その他(自由記述)の内訳

医師	1
産婦人科医師	1
麻生警察、町田警察、川崎駅近くの圓谷弁護士、ICUに運ばれたところ(北里病院の先生)、町田市民病院のソーシャルワーカーさん	1



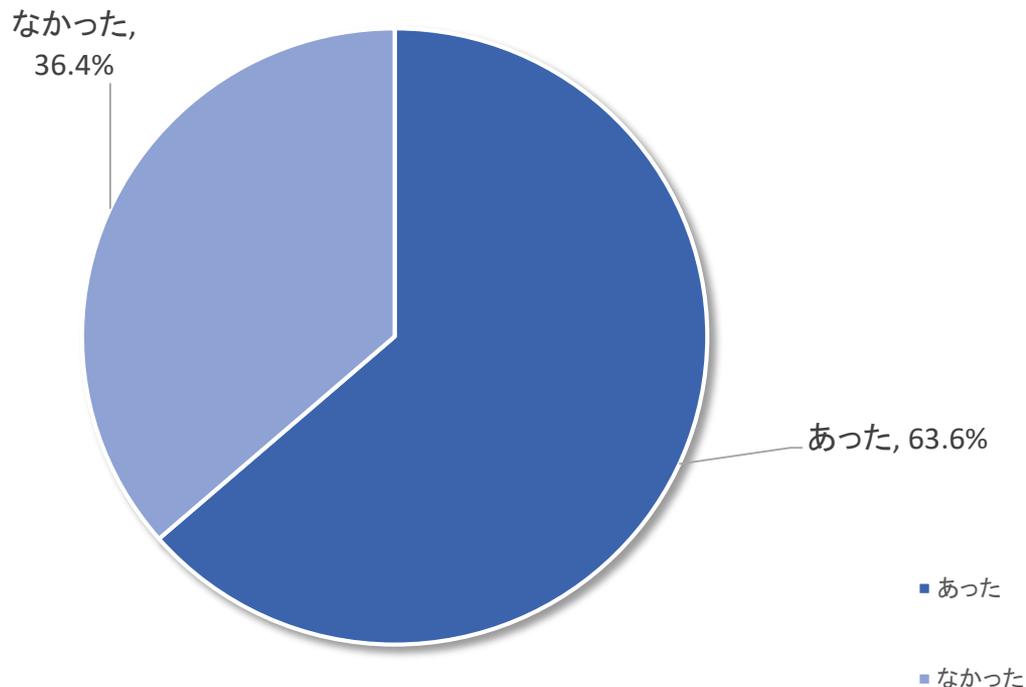
2 回答結果

(7-4) コロナ禍以前の購入をためらった経験

(質問7で「ある」と回答した方のみお答えください)

コロナ禍以前(2020年1月以前)も同じ理由により購入をためらったことがありましたか。

選択肢	回答者数 (人)	割合 (%)
あった	145	63.6%
なかった	83	36.4%
合計	228	100.0%

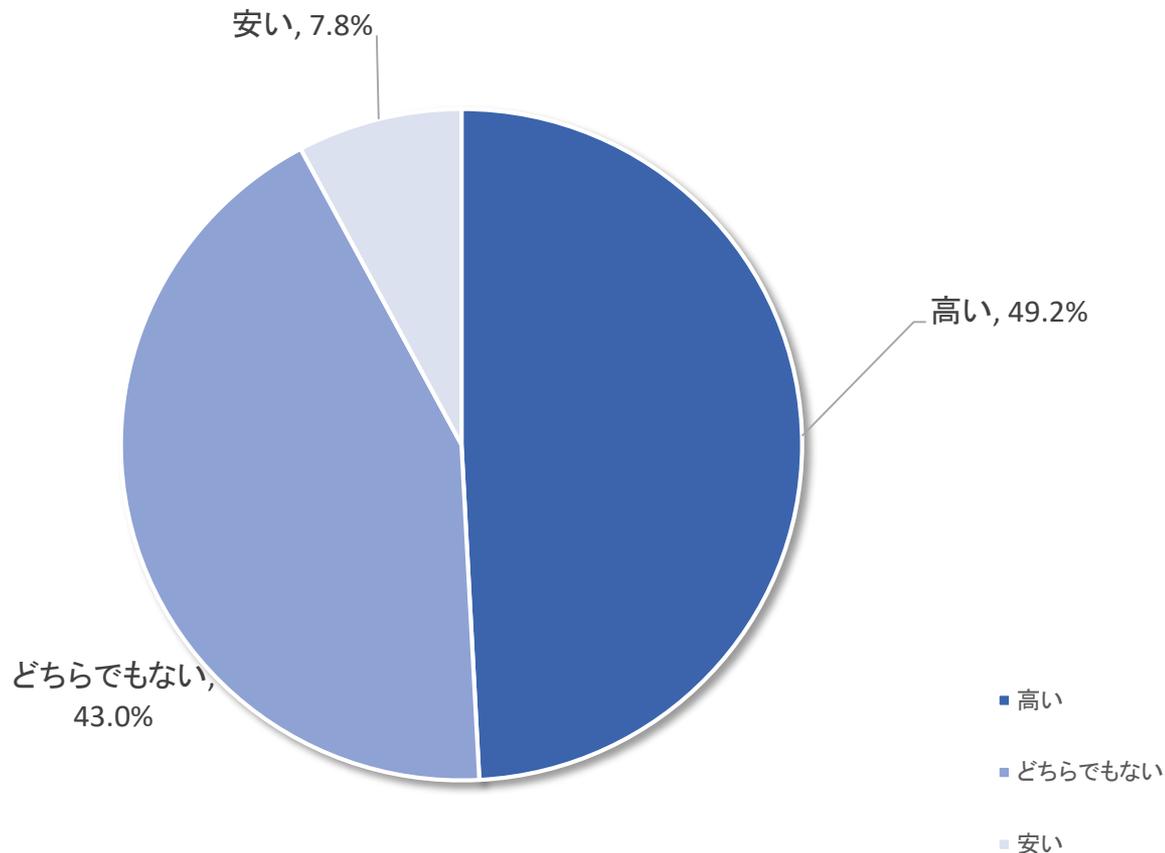


2 回答結果

(8)生理用品の費用に対する感覚

1 か月にかかるあなた個人の生理用品にかかる費用についてどう思いますか。

選択肢	回答者数 (人)	割合(%)
高い	383	49.2%
どちらでもない	335	43.0%
安い	61	7.8%
合計	779	100.0%

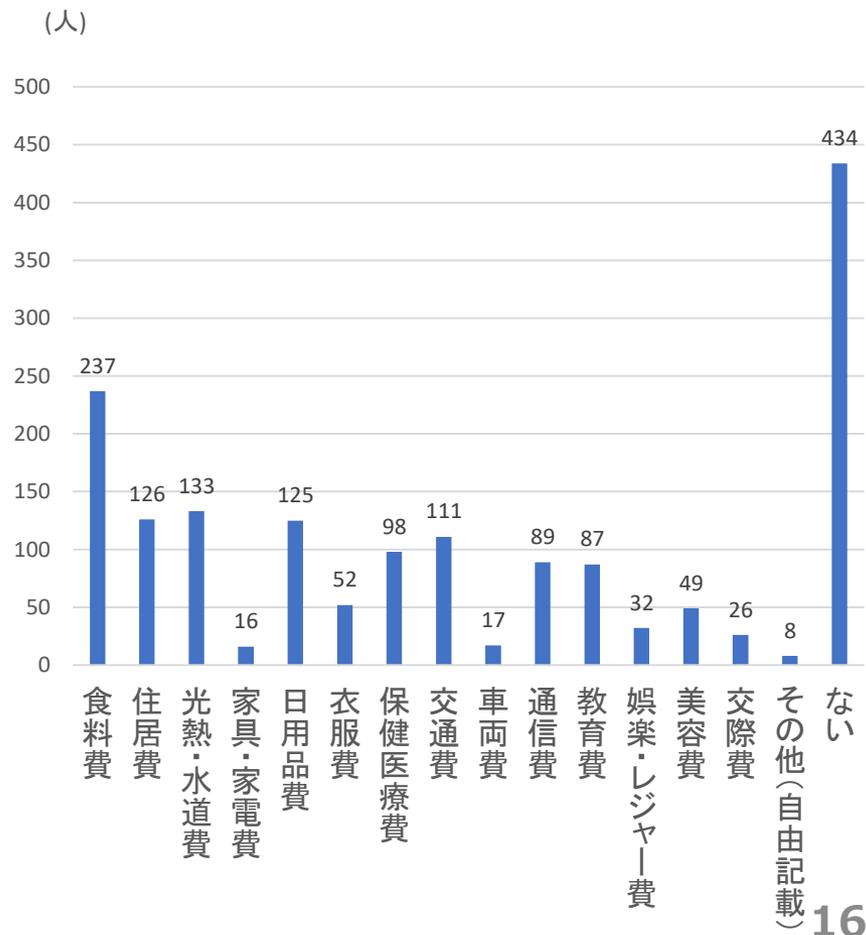


2 回答結果

(9) 生理用品より優先的に支払ったもの・こと

生理用品が必要なときに、生理用品よりも優先して支払ったもの・ことがある場合には、その支出先を教えてください。(複数選択) なお、「ない」に該当する方は、「ない」のみを選択してください。

選択肢	回答数 (複数選択)	割合 (%)
食料費	237	30.4%
住居費(家賃、住宅ローン、管理費など)	126	16.2%
光熱・水道費	133	17.1%
家具・家電費	16	2.1%
日用品費	125	16.0%
衣服費(洋服、靴、下着など)	52	6.7%
保健医療費(医薬品、診察費など)※生理用品代を除く	98	12.6%
交通費(通学定期券など)	111	14.2%
車両費(自動車等の購入・維持・使用にかかる経費)	17	2.2%
通信費(固定電話・携帯電話利用料、インターネット接続料など)	89	11.4%
教育費(保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学の費用など)	87	11.2%
娯楽・レジャー費(旅行・趣味・スポーツなど)	32	4.1%
美容費(美容院、化粧品など)	49	6.3%
交際費	26	3.3%
その他(自由記載)	8	1.0%
ない	434	55.7%
合計	1640	30.4%



2 回答結果

(9)生理用品より優先的に支払ったもの・こと

その他(自由記載)の内訳

妹への生活費補助

市民税

生理用品もピンキリなので安いのを探してます。探せばドラッグストアで20個入り100円程度の国内メーカー物があります。正直税金を使って無料で配布する必要は無いと思います。スマホ代払えるなら月100円は払えるはず。それも無理な人だけに配布でいいと思います。税金なのである人には使わないで欲しい。だから、私も貰いには行きません。本当に買えない人に渡してください。

重度のアレルギーでたくさんの薬を飲まなければならず、その薬代のために生理用品を買うのを躊躇った。

借金の返済

養育費

子どもの習い事

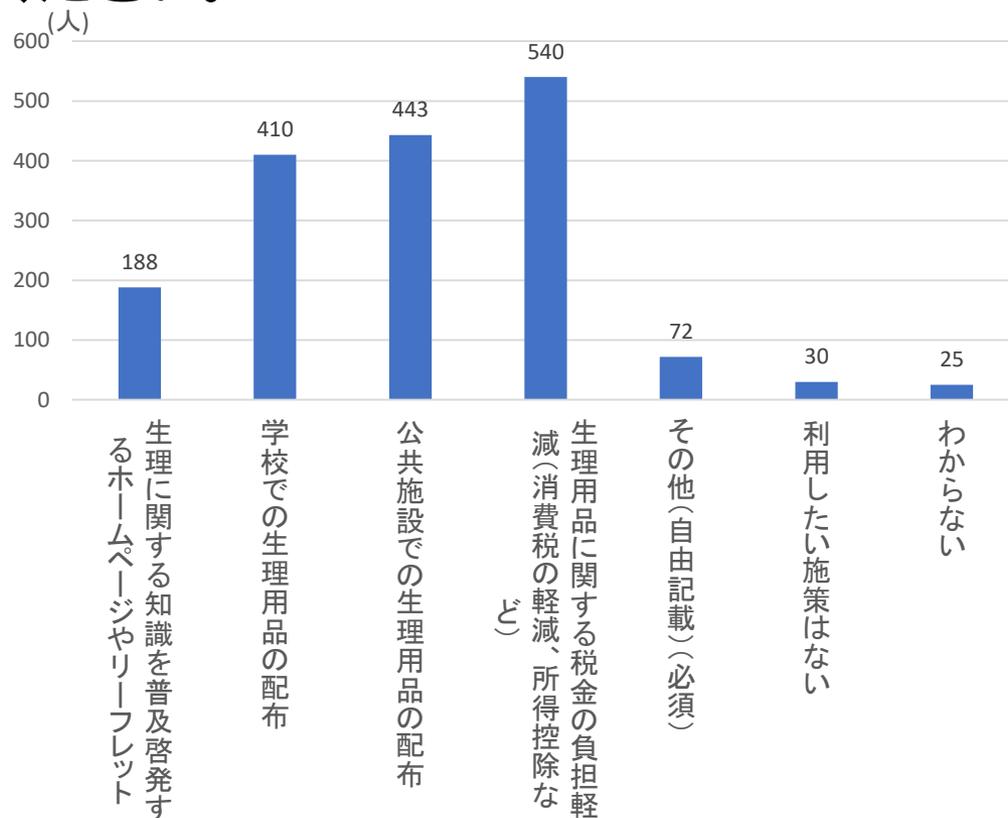
DV夫の宝くじや酒、食べ物、ゲーム課金や車、衝動買いに全て私の稼いだ貯金が消えていきます。遺産や家宝を売れとまで言われてそれも使われています。これ交際費に加えて、また少しズレてるのかなと思い、書かせていただきました。

2 回答結果

(10)利用したい施策

「生理の貧困」に関連して、次の施策があったら利用したいですか。利用したいと思うものを教えてください。(複数選択) なお「利用したい施策はない」「わからない」に該当する方は、「利用したい施策はない」又は「わからない」いずれか1つを選択してください。

選択肢	回答数 (複数 選択)	割合 (%)
生理に関する知識を普及啓発するホームページやリーフレット	188	24.2%
学校での生理用品の配布	410	52.7%
公共施設での生理用品の配布	443	56.9%
生理用品に関する税金の負担軽減(消費税の軽減、所得控除など)	540	69.4%
その他(自由記載)(必須)	72	9.3%
利用したい施策はない	30	3.9%
わからない	25	3.2%
合計	1708	



2 回答結果

問7で「購入をためらったことがある」と回答した人の意見は、左欄に「○」を記載

(10)利用したい施策（その他）

※配布に関してどちらかという否定的なご意見

○	居酒屋のトイレのように自由に使えるように置いてあると、いいと思う。 <u>窓口にもらいに行くと対応者が女性じゃない場合は気が引ける。また、平日窓口に行く時間がないので。</u>
○	<u>自分で調べたりしなければならぬ事柄が多すぎるのが現状です。配布場所も少なすぎる。住宅街が多い所にもっと力を入れてほしい。</u> その他教育として男性女性共にちゃんと知識を導入すべきです。会社もちゃんと取組むべき。
	布ナプキンの使い方、作り方を伝える。市販のものにも価格差はあるし、しっかり吸収の安いタイプのものも増えた。 <u>なんでも貧困と言って無料配布などをするのは違うと思う。</u>
	必要な人には支援があったほうが良いと思う一方、紙おむつなどと同じように考えると、 <u>生理用品だけ特別扱いするの</u> かどうかという気持ちもあります。
	<u>生理用品をもらうために交通費をかけて受取る、本末転倒な方も多くいると思います。</u> 貧困者は、お金の優先順序がおかしい方もたくさんいます。お金の使い方や知識をつけていくことが本質的な対策になると思います。
	<u>本当配布するほど困窮なのか疑問。</u> トイレトペーパーと同じくらい必要であることを男性に認知させることの方が重要。
	<u>無料なら利用したいと思うけれど、正直、貰いに行くというのがはずかしい。</u>
	私は新聞記事（神奈川新聞）生理用品配布を知ったが、 <u>困っている人ほど新聞を読まないし受取場所への交通費を惜しむ。公共施設は行くのが大変な人も多い。郵便局（交通機関を使わなくても動ける範囲にあるので）など考えてはどうか？また完全な無料でなくても良いと思う（配布の委託先への委託費程度）</u>
	<u>配布に関しては本当に困っている人に届くように配布すべきだ</u> と思う
	自分は学生時代、裕福な家庭ではなかったが、 <u>生理用品を控えるという考えがなかった。必要経費だと思っていて買わないという選択肢がなかった。よく考えれば女性にだけかかる経費だし、確かに安い商品ではないが、あまり意識してこなかった。自分のように、意識してこなかった人や当たり前で自分で購入してきた人にとっては支援する施策が理解されないと思う。税金を使うことについて広く丁寧な説明をしないと本当に困っている若年層や生活困窮世帯の方々が辛い思いをする。男性は値段も知らないはず。</u>
	<u>薬局やスーパーなどで交換できる「生理用品クーポン」。</u> 公共施設での配布も有難いが、そこに行くまでに交通費がかかる場合もある。 <u>身近な薬局などで入手できるととても嬉しい。</u>

2 回答結果

問7で「購入をためらったことがある」と回答した人の意見は、左欄に「○」を記載

(10)利用したい施策（その他） ※主に普及啓発・理解促進について

- 女性よりも男性の理解。40代夫は生理が何か理解してません。血が出るくらいしか分かってなさそうです。
- 職場での備え 管理
- 高齢な男性に教育。生理の量は個人差があります。大きさに言うと内臓が出血をしているのです。その出血の痛み量は自分が怪我をしたときに出血量や痛みが想像できないようにどれだけ止血するのに必要な用品が必要かは人によるのです。
- すなわちよくある月300円位のをなんで買えないんだと言うような追い打ちをかけるようなコメントを見ると無知に驚きます。人によっては300円などでは到底収まらず夜用を駆使して昼も使い3000円位かかる人だっています。多い日は1枚100円位のパンツ型のを使わなければ漏れることだってあるのです。
- 生理を理解していない男性が多すぎる これから生理を迎える女の子はもちろん、大人も子供も男性ももっと理解できる機会を増やすべき
- 最初ののに似ていますが、主に男性や同じ女性でも「たかが生理で？サボり。気持ちの問題」と平気で言う人が未だに周りに沢山居ます。私は子宮筋腫や色々重なったの遺伝ですが、人によって、重い人は吐いて倒れて立ち上がれない程のPMSや痛みがある事実を、TVでもAV観る前のネットCMでも、女が主に使う雰囲気漂う共通公衆トイレにでも、嫌でも目に入る所にポスターや広告を。面白おかしくでもいい強烈な印象で世のパワハラ系男性女性にインプットさせてほしいです。解っている人はよくぞ！とスッキリするか何とも思いませんので無問題かと。
- 生理に関する世間の認識（当然のこととして受け入れる）の向上、正しい生理用品の利用知識の向上が必要と考えます。
- 会社特に若手の男性職員に対して、生理の辛さに理解をしてもらえる工夫があれば
- 学校、バイト先で生理の人が休みやすくしてほしい。言い出しづらい
- 生理による体調の不安定さを理解しカバーしてくれる施策。女性が子供を産む限り、ハンデでしかない。
- 生理を女性だけの問題にせず、男性にも理解を求めること
- 子どもの生理について両親が学ぶ場があると良い。母だけでなく父も。
- 職場において生理による不調を理解してほしい。男性は勿論、女性でも症状は軽い人がいるので、生理痛が辛くても休暇を取得したり、相談する事が難しい。しかし、生理による仕事のパフォーマンスの低下は無視できない、生理のない、或いは生理の軽い人と同じ土俵で仕事をする辛さをもっとわかってほしい。妊娠と同じように、生理も病気じゃないと軽く考える人もいるけれど、生理も妊娠も、同じように経験した身としては、体にとって本当に辛いことだった。
- 生理用品が買えない貧困の問題を広めるための啓発
- 男性への生理についての教育
- 婦人科・泌尿器科や助産師による心と体と性の話があるとよいと思います

2 回答結果

問7で「購入をためらったことがある」と回答した人の意見は、左欄に「○」を記載

(10)利用したい施策（その他） ※主に学校での配布、一般への配布、困窮者世帯への対応について

	自身のことではなく、制度としては、学校での配布はあるといいと思う。
	生理の貧困は初めて知りましたが、学校等での配布をするなど生徒や学生さんに確実に配布していただくのが良いかと思います。
	未成年には無料で配布されるべきだと思います。（配布ではなく、学校のトイレ個室への設置が望ましい学校でも、公共施設でも、トイレに、トイレットペーパーと同じように置いてあると助かります。
○	申請家庭へ送付
○	ネットを利用しての配布 土日祝日の配布
	定期的に生理用品が自宅に届くサービス
	定期的に郵送されてくるようなシステム
	学校、放課後に利用する学童施設や教育機関はもちろん、駅や図書館、子ども文化センターなど、若い方がよく利用する場所のトイレに常備してはいかがでしょうか？イメージとしては、昔ティッシの販売機がトイレにありましたがあのようなかたちはいかがでしょうか？種類もいくつか選べたら、なお喜ばれるのではないのでしょうか？ご検討、どうぞよろしくお願いします。
	ドラッグストアでの試供品等の配布
○	ひとり親の低所得世帯に対する生理用品の配布
	重ねて、赤ちゃんや介護・高齢者のおむつも同様の問題を抱えています。税を軽減するのももちろんですが、購入するお金が足りなくて手元の物品が不足している方々へ配布等で救いの手を。
	保護を受けている世帯等への配付
	社会人なので、自分は利用しないと思いますが、貧困者の為に上記の施策は必要だと思います。

2 回答結果

問7で「購入をためらったことがある」と回答した人の意見は、左欄に「○」を記載

(10)利用したい施策（その他）※主に費用軽減、ナプキン以外の商品について

<input type="radio"/>	生理用品の無償化
<input type="radio"/>	女性生理用品に使えるクーポン
<input type="radio"/>	助成金
<input type="radio"/>	医療費で買いたい
<input type="radio"/>	低用量ピルをドラッグストアなどで気軽に買えるようにしてほしい
<input type="radio"/>	企業で給料の一部としての女性のための支援金 料金を安くする（企業に支援金で安く売ってもらう）
	生理用品は贅沢品ではなく、女性だけが必ず毎月使用する必須日用品なので、非課税を適用してほしい。
	低所得世帯にクーポン配布しドラッグストアで受取れる等 価格見直し
	生理用品そのものもだが、軽減するためのピルなどのホルモン剤を保険が効く・国から補助が出るなどもっと身近なものにしてほしい。
	毎月の生理用品その物のクーポン
	生理の貧困に鎮痛剤、低用量ピルなどの医薬品を買えないことを追加してほしい。本当に経済的負担が高く、入手のハードルが高いのは生理用品ではなく生理に関する医薬品です。
	生理用品に関して個人の支出がないほうがいいと思います。
	ピルの無料化。月経過多は薬に頼るしかない。

<input type="radio"/>	月経カップの普及
	貧困とかそういう問題ではなく、合成ポリマーを使用した生理用品で体を害している事を、教育の場でもっと伝えていくべきで、もっと市販でコットン100の生理用品や、布ナプキンを普及していくべきなのでは？
	洗って使える布ナプキンの作り方使い方を学校で教えてはどうでしょうか？
	布ナプキンの使用をもっと簡単に行えるようにしてほしい。（購入場所、必要なものの価格（洗剤）、周囲の知識）
	布ナプキンの普及
	ナプキンだけでなくタンポンやカップなど多数ある生理用品の紹介や使い方などの啓発

2 回答結果

問7で「購入をためらったことがある」と回答した人の意見は、左欄に「○」を記載

(10)利用したい施策（その他） ※その他のご意見

○	アプリ（オイテル）が広がって欲しい
	困っている人がいたら助ける仕組み。月経重くて辛い人が相談できる場所。月経が重いと鎮痛剤とかの費用も必要になる。
	どうしたら本当に困っている方に届くのか、何か良い方法がないのか、政策を期待！！
	記入欄がなかったので、こちらに記載させていただきます。肌が弱く特定の生理用品しか使用できないので、そういう方にも配慮した対応をお願いしたいです。よろしくお願いします
	若い方、生理が始まってなかなか相談できない方向けのサポート（ホームページなど）があればよいと思います。親への相談の仕方とか
	自身は困っていないが、上記取り組みは有効だと思う。
	こちらから質問できる項目がなかったのでこちらで書き込みます。質問7で個人の生理用品（鎮痛剤、低用量ピルなどの医薬品は除く。）とあるのはなぜでしょうか？鎮痛剤や低容量ピルなどの医薬品も生理のある人間にとって生理用ナプキンやタンポンなどと同じく必要なものです。病院に行けるかどうかも所得の影響を受けます。ご一考下さい。
	質が悪くてもいいので、安いナプキンを提供する企業への優遇
	未使用の生理用品の寄付
	安全な物を。
	かながわMIRAIキャンペーン「はじめてばこ」のように、生理が来る年齢や、性教育を受けるタイミングの子供に、はじめての生理セットをあげるような取り組みがあるといいなと思います。正しい使い方がわからない子供もいますので(ナプキンのシールを身体側に直接貼ってしまうなど)、実物を見て知る機会があればいいと思います。

3 回答結果からの考察

問3(雇用状態)× 問7(購入をためらった経験有無)

「学生」の30%以上、「非正規雇用職員・従業員」「働いていない」と回答した人の約40%が「購入をためらったことがある」と回答しているのに対し、「正規雇用職員・従業員」で「購入をためらったことがある」と回答したのは15.9%にとどまっている。

⇒雇用が不安定な方が、「購入をためらったことがある」割合が高い傾向が伺える。

	合計 (人)	ある		ない	
		回答者数 (人)	割合	回答者数 (人)	割合
学生	253	81	32.0%	172	68.0%
正規雇用職員・従業員	246	39	15.9%	207	84.1%
非正規雇用職員・従業員(パート、アルバイト、派遣・契約・嘱託職員)	156	61	39.1%	95	60.9%
自営業	24	5	20.8%	19	79.2%
その他	17	7	41.2%	10	58.8%
働いていない	83	35	42.2%	48	57.8%
合計(A)	779	228	—	551	—

3 回答結果からの考察

問4(世帯年収の増減)× 問7(購入をためらった経験有無)

- ・「購入をためらったことがある」と回答した人のうち、69.7%が収入が減ったと回答している。一方で、「ない」と回答した人の中では、28.9%にとどまっている。

⇒「購入をためらったがある」人の方が、コロナ禍で世帯年収が減少している割合が高い傾向が伺える。

	合計 (人)	ある		ない	
		回答者数 (人)	割合	回答者数 (人)	割合
減った	318	159	69.7%	159	28.9%
変わらない	345	44	19.3%	301	54.6%
増えた	36	2	0.9%	34	6.2%
わからない	80	23	10.1%	57	10.3%
合計	779	228	100%	551	100%

3 回答結果からの考察

問5(世帯年収の状況)× 問7(購入をためらった経験有無)

「100万円未満」から「200～299万円」までは「購入をためらったことがある」と回答する割合の方が高いが、「300～399万円」以上は「ない」と回答する割合の方が高くなる。

⇒世帯年収が低いほど「購入をためらったことがある」と回答する割合が高い傾向が伺える。

選択肢	合計 (人)	ある		ない	
		回答者数 (人)	割合	回答者数 (人)	割合
100万円未満	74	44	59.5%	30	40.5%
100～199万円	32	20	62.5%	12	37.5%
200～299万円	58	31	53.4%	27	46.6%
300～399万円	61	18	29.5%	43	70.5%
400～499万円	72	18	25.0%	54	75.0%
500～699万円	107	27	25.2%	80	74.8%
700～999万円	122	17	13.9%	105	86.1%
1000～1499万円	64	2	3.1%	62	96.9%
1500万円以上	14	0	0.0%	14	100.0%
わからない	175	51	29.1%	124	70.9%
合計(A)	779	228	—	551	—

3 回答結果からの考察

問8 (生理用品の費用に対する感覚)

× 問7 (購入をためらった経験有無)

・「購入をためらったことがある」と回答した人のうち、79.4%が生理用品を「高い」と感じているのに対し、「ない」と回答した人の中では36.7%にとどまった。

⇒「購入をためらったことがある」人は、生理用品を高いと感じる割合が高い傾向が伺える。

選択肢	合計 (人)	ある		ない	
		回答者数 (人)	割合	回答者数 (人)	割合
高い	383	181	79.4%	202	36.7%
どちらでもない	335	43	18.9%	292	53.0%
安い	61	4	1.8%	57	10.3%
合計(A)	779	228	100%	551	100%

3 回答結果からの考察

問9 (生理用品より優先的に支払ったもの・こと)

× 問7 (購入をためらった経験有無)

・「購入をためらったことがある」と回答した人のうち、92.5%が他のもの・ことに対して優先的に支払いを行った。(「食料費」「住居費」「光熱・水道代」等への支払いが特に多い)

・「購入をためらった経験がない」と回答した人のうち、24.3%が他のもの・ことに対して優先的に支払いを行った。(「食料費」「日用品費」「交通費」等への支払いが特に多い)

選択肢	合計 (人)	ある		ない	
		回答者数 (人)	割合	回答者数 (人)	割合
食料費	237	154	67.5%	83	15.1%
住居費(家賃、住宅ローン、管理費など)	126	93	40.8%	33	6.0%
光熱・水道費	133	100	43.9%	33	6.0%
家具・家電費	16	15	6.6%	1	0.2%
日用品費	125	83	36.4%	42	7.6%
衣服費(洋服、靴、下着など)	52	37	16.2%	15	2.7%
保健医療費(医薬品、診察費など)※生理用品代を除く	98	62	27.2%	36	6.5%
交通費(通学定期券など)	111	73	32.0%	38	6.9%
車両費(自動車等の購入・維持・使用にかかる経費)	17	14	6.1%	3	0.5%
通信費(固定電話・携帯電話利用料、インターネット接続料など)	89	66	28.9%	23	4.2%
教育費(保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学の費用など)	87	71	31.1%	16	2.9%
娯楽・レジャー費(旅行・趣味・スポーツなど)	32	18	7.9%	14	2.5%
美容費(美容院、化粧品など)	49	21	9.2%	28	5.1%
交際費	26	17	7.5%	9	1.6%
その他(自由記載)(必須)	8	5	2.2%	3	0.5%
ない	434	17	7.5%	417	75.7%
合計	1640	846		794	

3 回答結果からの考察

問10(利用したい施策)×問7(購入をためらった経験有無)

- ・「購入をためらった経験がある」と回答した人は、利用したい施策として、77.2%が「生理用品に関する税金の負担軽減」、67.1%が「公共施設での生理用品の配布」と回答している。
- ・「購入をためらった経験がない」と回答した人は、利用したい施策として、66.1%が「生理用品に関する税金の負担軽減」、53.4%が「学校での生理用品の配布」と回答している。

	合計 (人)	ある		ない	
		回答者数(人)	割合	回答者数(人)	割合
生理に関する知識を普及啓発するホームページやリーフレット	188	41	18.0%	147	26.7%
学校での生理用品の配布	410	116	50.9%	294	53.4%
公共施設での生理用品の配布	443	153	67.1%	290	52.6%
生理用品に関する税金の負担軽減(消費税の軽減、所得控除など)	540	176	77.2%	364	66.1%
その他(自由記載)(必須)	72	18	7.9%	54	9.8%
利用したい施策はない	30	6	2.6%	24	4.4%
わからない	25	3	1.3%	22	4.0%
合計	1708	513		1195	